

# 市長、住民を無視し、勝手に着工合意？

2月10日、着手合意協定書に勝手にサイン？



市長への抗議文を手渡す（1月30日）

1月30日、吹田市議会の「吹田操車場跡利用等特別委員会」で、吹田市長が貨物駅移転の合意文書を提出す

「勝手に決めるな！」  
「吹田を公害の街にするな」という情報をキャッチした市民70名が、早朝から吹田市役所前で大宣伝。「市長、勝手に決めるな！」

こんな市長ではアカンがな！  
移転の是非は住民投票で決めよう

## うめかも通信

第13号

発行所

住民投票を求める吹田市民ネットワーク  
吹田市泉町1-21-4

電話&FAX

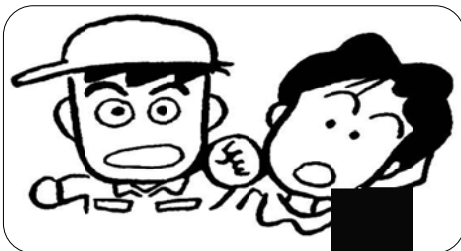
06(6192)7033

署名期間は2月24日まで

署名を集めながらもサポーターを増やすことができます

「住民投票で決めるべきだ」などの声が市役所周辺にこだましました。午前9時には、市長あてに緊急抗議書を手渡ししました。市長は「公務中」で、市民の前に姿を現しませんでした。

引き続き、特別委員会の議場へ。60名を超える傍聴希望があり、本来なら全員を傍聴させるべきだと



市長！勝手に決めるな！

は、程遠い運営です。特別委員会の内容は裏面で。

傍聴者には、思いますが、6名に制限され、開かれた。吹田市の「開かれた議会」と

うめかも（梅田貨物駅）の移転は、まだ決まっています。住民投票で圧倒的多数の市民が反対を示せば、撤回は可能です。

サポーター3千人超える！

「3千人のサポーターで3万筆の署名」を目標に、この運動を始めましたが、1月31日現在で、サポーターが目標の3千人に到達しました。署名が始まってからも、サポーター登録はどんどん進んでいます。また各地で署名が集まってきており、住民投票で決めるべき、という



同日、メイシアターで行われた「住民投票サポーター集会」には、130名を超える市民がかけつけた

「市長が、貨物駅の受け入れを決定しようとしている」。こんな衝撃的なニュースを聞きつけた市民約70名が、月曜日の朝にもかかわらず、

早朝から緊急抗議行動。引き続き特別委員会が開催されまして、以下は傍聴者から聞き取った議事の内容です。

Q なぜそんなに急いで議会を開いたのか？  
吹田市が、2月11日には大規模な住民の反対集会が予定されている。

Q 現在住民投票を求める運動が行われている。そんな時に、市長が強引に合意してしまえば、市民との関係で汚点を残すの

では？  
吹田市 市民の声は承知している。しかし、国や府、元貨物、整備機構など、関係機関との信頼関係を失いたくはなかった。住民投票運動をもう少し早くやっていたら、我々も判断できたのだが、解説 5者協定の当事者だけを見て、市民は一切無視すると宣言。住民投票をもう少し早く、というが、いままでも環境アセスをしているから、住民投票運動をあえて行わず、アセスの結果を待っていたのである。市長自身も「まだアセスをやつておりまですから」という理由で、市民と

会おうとしなかった。全くの開き直りである。1月31日に行われた議事運営委員会で、「吹田貨物ターミナル駅（仮称）建設事業の着手合意協定書（案）」は、2月7日午前10時からの市議会に報告され、その後10日に締結される見込みとなりました。吹田市長がいったんは勝手に決めることになりませんが、私たちには住民投票があります。住民投票で市民の声をしっかりと出せば、この声を無視することはできないでしょう。この合意協定書（案）第7条には「協定の定めのない事項又は協

定に関して疑義が生じたときは、5者が協議の上、これを定める」とあります。吹田市長を変えるか、市長が断念せざるを得ないだけの世論を示せば、撤回は可能です。

住民投票を求める運動が始まり、あせったのか？  
何が何でも「勝手に決める吹田市長」に決めよう

私ら合意してまへん

吹田市民緊急抗議行動

2月7日午前8時市役所前集合

大宣伝と市長への抗議、議会傍聴を行います